

## 2.7 住民意識調査の概要（ヒアリング）

「平成15年7月九州豪雨災害に関する調査報告会」

水俣市宝川内集地区  
住民意識調査の概要  
(ヒアリング)

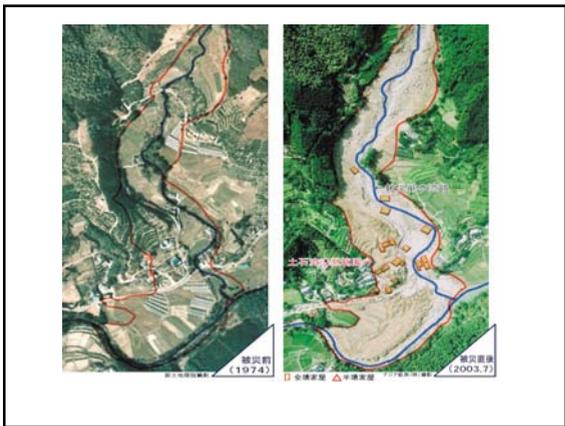
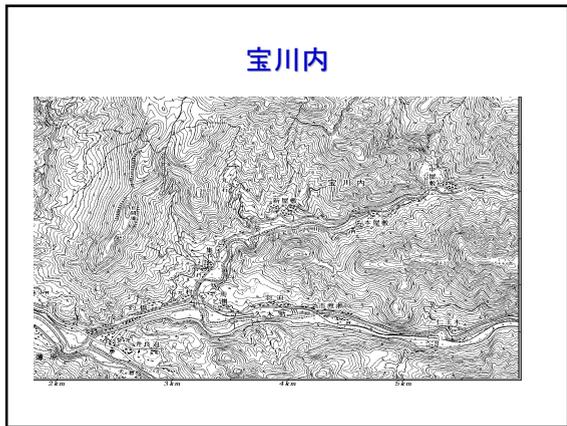
廣井	脩	(東京大学)
関谷	直也	(東京大学)
宇田川	真之	(建設技術研究所)
○中森	広道	(日本大学)
中村	功	(東洋大学)

### 調査の方法と目的

- 被災地域の状況や被災家族の事情に詳しい方に、被災した世帯のそれぞれ状況についてヒアリングを行う。

↓

- 人々がどのような対応行動を行ったかを推察する。



### 人的被害のポイント

- (1) 消防団の呼びかけにより被災を免れた人がいること
- (2) 孤立した家にいる人々を助けようとしていた消防団員が、人々とともに土石流の被害を受けたこと
- (3) 結果的に土石流が流入しなかったために被害を免れた人がいること

## 対策案

- 土石流危険渓流の認識だけでなく「土石流」自体の恐ろしさの認識させる
- 速やかな意思決定のための情報伝達と徹底
- 早い時期に「地域外」への避難を行うことを目的とした避難計画・避難場所などの策定と徹底
- 地域や住民自体の判断により、自治体等からの避難勧告等を待たずに対応すること